

「急病時の対応」番外編

乳幼児の薬の飲ませ方編



基本的に薬は水、ぬるま湯と一緒に飲みます。しかし、苦みが苦手な乳幼児は飲んでくれない場合もあります。

シロップ剤の飲ませ方

容器を軽く振って混ぜ合わせてから指示された量を容器に移します。付属のカップで飲めない乳児はスプーンで舌の奥に流し込んだり、ほ乳瓶の乳首に入れて飲ませます。



①ごく少量の水で練る
1〜2回で飲み終わる量になるようにペースト状に練り、指先でお子さんの上あごや頬の内側に付けて水を飲ませます。舌の上だと苦味を感じて吐くことがあります。



②好きな食べ物に混ぜる

ヨーグルトやアイスクリーム、プリンなどに混ぜて食べさせます。薬を食べ物で挟むと食べやすくなります。薬によっては混ぜると苦味が強くなる物もあるので薬剤師にご確認ください。

に混ぜると嫌いになる場合があるのでやめましょう。

その他の工夫

①薬を飲むタイミング
食後にお腹が一杯になると飲めなくなる子もいます。処方箋には食後と書いてある薬でもお医者さんに確認し、食事や授乳の前に飲ませることも1つの方法です。

②薬を飲めたら褒める

きちんと飲めたら大げさなくらいに褒めてあげてください。お子さんの自信につながります。

こんな時どうする？

①薬を飲み忘れたら
飲み忘れに気付いたら、できるだけ早く薬を飲ませましょう。次の薬を飲む時間が近いときは、1日に飲む回数によって時間を遅らせます。

- ・1日3回飲む薬→4時間
- ・1日2回飲む薬→6時間
- ・1日1回飲む薬→8時間

②症状が良くなったので飲まなくていい？

医師に処方された薬は、必ず指示通りに飲んでください。薬によっては症状が治まっているだけで、病気が治っていない場合があります。

健康長寿課(すこやか内)
☎87・0777

2回分を一度に飲むと副作用が起きやすくなりますので絶対に飲ませないでください。

③薬を吐いてしまった

薬を飲んだ直後にほとんど吐いてしまった場合は、30分ほど経って吐き気が落ち着いてから、もう一度飲ませます。少量の場合や服薬後30分以上経っている場合は、再度飲ませる必要はありません。しかし、服薬の度に吐くようであれば医師にご相談ください。

普通救命講習のお知らせ

皆さんの大切な家族・友人、知人が目の前で倒れた時、命を救えるのは一番近くにいるあなたです。ご家族で、友達と、ご近所さんと、お気軽にご参加ください。

また、eラーニングでの受講も可能です。詳しくは市のホームページで「普通救命講習」を検索してください。

とき▼毎月最終日曜日
午後1時〜4時
※eラーニングは毎月最終日曜日の午後1時〜3時
ところ▼消防署
※開催日の変更、中止になることがありますので、事前に消防署までお問い合わせください



普通救命講習の様子

消防署 ☎88・0400

石探訪 24

毘沙門の金燈籠

通称毘沙門の金燈籠といわれ市の指定文化財となっている。正式には秋葉神社常夜燈と称するのが正しいと思われる。灯籠をささえる台座部分の傷みが激しいということで補修移転の話合いが行われている。この際、市民の皆さまに町のシンボルといわれたこの灯籠の由来と歴史を知っていただきたい。

金燈籠は本町通に万延元年(1869)、袋田町・沢町・長淵町の秋葉神社氏子70余戸が寄贈し建設された。明治に入ると袋田区の年番が毎夜点火し、毎年春秋には金燈籠祭りも行われ勝山名物として親しまれてきた。明治29年(1896)の大火以後も、交通の最も激しい勝山銀行前の四ツ辻に立っていた。しかし大正12年(1923)頃から青物夜市が袋田区で開かれるようになり、車馬や自動車の通行の妨げにもなり邪魔になるとして昭和元年(1916)頃には毘沙門境内に移転された。

燈籠には常夜燈とあり、上段から順に金光山見性院 現主活道智徳、越中高岡の鋳物師2人の名、世話人として「梅田伝兵衛 玉木理太良 澤屋喜兵衛 炭屋喜



市史編纂室 山田 雄造



兵衛」など28人の名前が記されている。秋葉神社は見性院の境内に鎮守として建立された神社で、見性院は文政13年(1830)に開善寺の隠居所として長淵町の浄土寺川左岸に創建された。

秋葉神社の史料は天保14年(1843)9月の項に、「見性院鎮守秋葉山再建一付三町共勸化御廻り」(仙田家「用留」)とみられる。安政6年(1859)の史料にも「見性院境内秋葉社常夜燈建立二付金壹貳分三ヶ年二寄附」(松屋「永代記録」)とある。見性院境内に建てられるはずの常夜燈がなぜ四ツ辻に建てられたのかは不明である。秋葉神社は火防(ひぶせ)の神として知られ、何度も大火に見舞われた町では、常夜燈を信仰の対象として町の中心に設置したのかも知れない。

空き家の目立つ民家の利用も含め、かつて町のシンボルであった金燈籠を、町の活性化に何とか生かす知恵が欲しい。あわせて今一度青物夜市を復活させられないだろうか。17世紀から400年近く本町の中央を流れてきた水路を一部でも復活できないだろうか。七里壁の一部を復活させ湧き水(清水)を流す工夫ができないだろうか。

おすすめ図書

勝山市立図書館 ☎88-6000
ホームページ <http://tosyokan.city.katsuyama.fukui.jp/>

一般図書



「主婦になろうよ!」

佐川 光晴/著
左右社

著者は主婦歴20年。家事と育児が趣味の作家である。男が家事をすることについて、主婦の24時間、主婦の悩み相談などを通して、楽しみながら生きる秘訣を伝授する。独身男性の10人に1人が主婦になりたい、と答える時代の新しい生き方を提案する。

中高生図書



「思春期」

小手鞠 るい/著
講談社

中学1年生になったばかりの「わたし」。でも、行きたくない場所は…学校。「未来は明るい」だとか「若さはすばらしい」などという一般的な思い込みとの狭間で、自分の価値や生きる不安にゆれながら日々を送っている。秘密、孤独、嫉妬、後悔、自己嫌悪…いろんな痛みが交錯する小説。

こども図書



「えんぴつ太郎のぼうけん」

佐藤 さとる/作
鈴木出版

男の子のお気に入りだった小指ほどの「えんぴつ太郎」。ある日、机の下の隙間に落ちてしまったところ、トランプのジョーカーに魔法をかけられて顔と手足がつかまりました。話したり歩いたりできるようになったえんぴつ太郎の、つかの間だけハラハラドキドキする冒険物語です。

人口の動き

	3月末現在	自然動態			社会動態			4月末現在	月間増減
		出生	死亡	計	転入	転出	計		
男	11,820人	3	-15	-12	17	-35	-18	11,790人	-30人
女	12,934人	7	-13	-6	23	-38	-15	12,913人	-21人
合計	24,754人	10	-28	-18	40	-73	-33	24,703人	-51人
世帯数	8,084世帯							8,076世帯	-8世帯

5月の納税

軽自動車税▶第1期
納期限▶6月1日(月) □座振替▶5月26日(火)

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成27年4月末	前年比
総件数	171件	-9件
人身事故 (うち高齢者)	12件 (3)	-8件 (-1)
死者 (うち高齢者)	0人 (0)	0人 (0)
傷者	13人	-11人
物損事故	159件	-1件